



こんにちは！地域おこし協力隊の古田です。いよいよ冬もピークを迎え、寒さが身に染みるころですが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

さて、今月も引き続き移住フェア出展の話です。今回は12月7日(土)、8日(日)に東京で開催された『JOIN 移住・交流&地域おこしフェア』というイベントに出展してきました。地方移住

分野では非常に有名な、(一社)移住・交流推進機構が主催し、全国から約300もの自治体や企業、団体が参加しました。場所は、お台場の東京ビッグサイトで、来場者も約4,000人と移住関係のイベントでは間違いなく日本で最大規模です。今回も、さまざまな方々とお話することができました。その中で特に印象的だったエピソードをお話



したいと思います。

20代後半と思われる男性二人が、福井県の移住PRポスターを熱心に見ていたの声をかけました。すると、「都会が嫉妬する県ってどういうことなのでしょうか?」とおっしゃられ、ポスターのキャッチコピーに興味を持っていただけたようでした。満員電車がなかったことや、自然が近く、山・海・川にすぐに遊びにいけること、スーパーで新鮮な食材が手に入ること、子育て環境が充実していることなどを説明したところ、「それは確かに羨ましいです



ね!」とってくださいました。さらに話を伺うと、「首都圏の自治体で公務員をしているのですが、都会で生活することに疲れまして。モヤモヤするというか。色々見ていたら地方移住もいいなと思い、どこかいいところがないかと情報収集しています」とのことでした。数年前の私と同じ心境だと思い、福井の魅力に熱く語ったところ、「とても参考になりました。また遊びに行きます!」と笑顔で言ってください、話を進めるにつれて前のめりになる姿が印象的でした。

個人的な感想ですが、都会で一先懸命働きながらもモヤモヤしている方々に対して、「移住するとこんなことあるよ、おもしろいよ」とリアルな思いを届けられたのは数年前の自分に語りかけるようであり、自分の人生が進んでいることを実感しました。

このエピソードはほんの一例ですが、さまざまな方から相談をいただき、それぞれの思いに触れるたび、人生というのは本当に十人十色だと実感しています。これからも地域おこし協力隊として、どこかでモヤモヤを抱えて生きている方に、新たな選択肢を提供できるよう精進していきます!

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013



MINAMIECHIZENCHO_IJYU
Instagram



子宮頸がん予防接種(HPVワクチン)について

子宮頸がん予防接種について、これまでのキャッチアップ接種は令和7年3月末で終了予定でしたが、昨年夏以降の大幅なワクチン需要の増加により、希望しても接種を受けられなかった方がいる状況を踏まえ、以下の対象者が全3回の接種を公費で完了できるよう経過措置が設けられることとなりました。

対象者 次の両方にあてはまる方

- ・平成9年4月2日～平成21年4月1日生まれの子
- ・令和4年4月1日～令和7年3月31日の期間中に1回以上接種した方

費用 無料 **持ち物** 予診票(お手元がない方は保健福祉課へご連絡ください)、母子健康手帳

期間 令和8年3月31日まで

接種希望で、まだ1回も接種していない方は、令和7年3月31日までに接種を開始しましょう!

■問合せ 保健福祉課 ☎ 0778-47-8007